

令和3年度 事業報告【第42期】

令和4年3月31日

2021年度も昨年度に引き続き長期化するコロナ禍の中、先行きが見えない中での運営となり、事業環境に大きな影響を与えた1年であった。法人内各施設の新型コロナウイルス感染対策として、施設内の消毒・換気の実施を徹底、ワクチン接種、ご家族の面会制限、ボランティア・実習生の受け入れ停止等により感染防止対策の強化を図ったが、土浦拠点において大規模な施設内感染が発生した。つくば拠点においては、利用者・職員・家族等の新型コロナウイルス感染症の感染や濃厚接触により受け入れ制限を数回実施し施設内感染防止に努めたが、稼働実績には大きく影響を与えた。

このような事業環境の中、新規入所者の受け入れ停止、ショートステイの利用制限、感染拡大時のデイサービス受け入れ中止及び感染リスクを懸念した在宅サービスの利用控え、外部への営業活動の制限等のため全体的に減収は避けられなかった。

この結果、当期業績は、サービス活動収益額 1,161,000 千円（前年比 44,000 千円減収）、経常増減差額 ▲7,500 千円（前年比 50,000 千円減収）と法人開設以来初めての赤字決算という厳しい結果となった。今後も引き続き感染予防を徹底しつつ、早期業績回復に努め、安定的な事業継続に向けた取り組みを進めていきたい。

《重点項目事業報告》**(1) 感染症や災害への対応力強化**

新型コロナの感染対策等により、災害時に備え業務継続に向けた研修・訓練の実施が計画通り実施できなかった。感染症の予防とともに、感染発生時の事業継続のための取組み他 BCP の策定と活用は次年度への最優先課題とする。

(2) 人材の確保・育成・定着化

人材確保に苦慮する中、離職防止の取組みを強化する。具体的には、キャリア支援、ライフサイクルに応じた働き方の支援、風通しの良い職場づくり、認証制度の活用による働きやすい職場の「見える化」、人事評価制度の構築等を通して取組みを強化する。

- ◆昨年度「ユースエール認定企業」の認定を受け、1年ごとの継続更新の認定を受けることができた。「茨城県働き方改革優良企業」の認定と合わせて新卒・一般就職説明会等で、認定制度の認定公表による求人効果が期待できる。
- ◆今年度外国人留学生の受け入れを予定していたが、新型コロナウイルスによる入国制限等で契約には至らなかった。4月以降3名入国予定で受け入れ準備を進めている。
- ◆処遇改善施策の拡充：職員の処遇改善について、処遇改善原資をルールに基づき交付金額以上に支給した。

(3) 自立支援・重度化防止の取組推進

- ◆各拠点に機能訓練職専任の理学療法士・作業療法士及び栄養部門に管理栄養士を配置し、自立支援・重度化防止に向けた取組みを強化する。
- ◆LIFE の活用と科学的介護の取組み推進については、次年度の課題とする。

(4) 業務の効率化、福祉機器の導入促進

- ◆昨年度事業を休止した訪問介護事業所については、9月1日をもって事業廃止とし、訪問介護事業所静霞園に統合する。
- ◆介護職員の負担軽減を図るため、見守りセンサー付きベッドを導入した。その他介護ロボット・ICT福祉機器についても継続導入予定である。